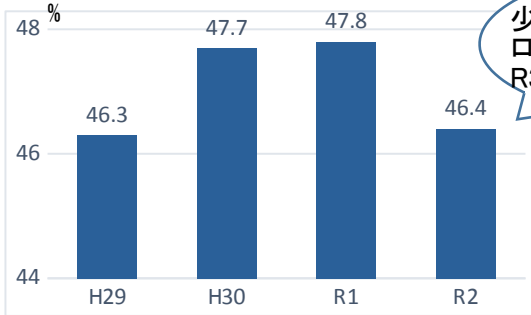


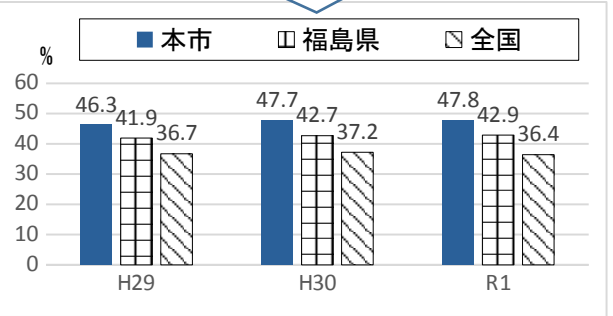
特定健康診査受診率 (年次推移と県・国との比較)

本市の受診率の年次変化

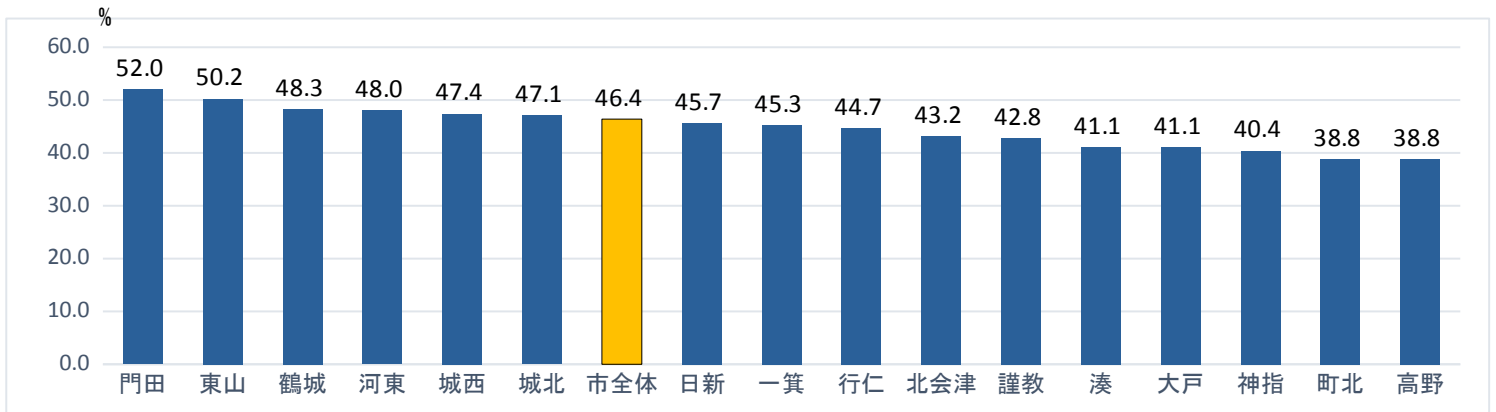


少し低下したのは、コロナウイルスの影響…？  
R3はぜひ受診を！！

本市は、福島県や全国より受診率が高いです☆

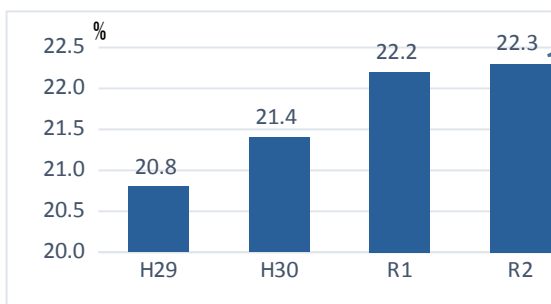


令和2年度地区別受診率 お住いの地区は、いかがでしょうか？



メタボリックシンドローム該当者割合 (年次推移と県・国との比較)

本市のメタボ該当率の年次変化

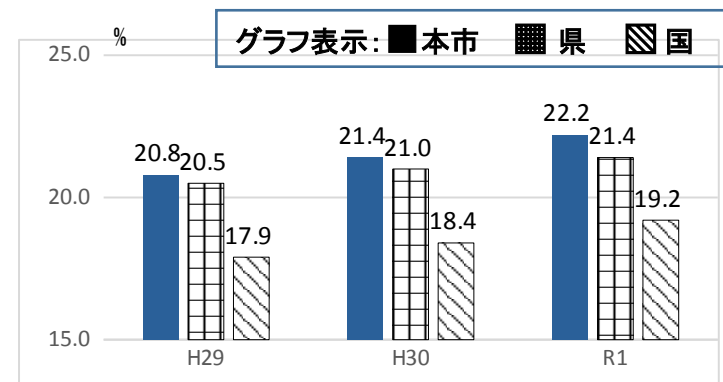


年々、メタボ該当者が  
増えています…

メタボリックシンドロームの診断基準  
腹囲(男性85cm以上、女性90cm以上)  
+  
下記の項目のうち2つ以上満たす場合。

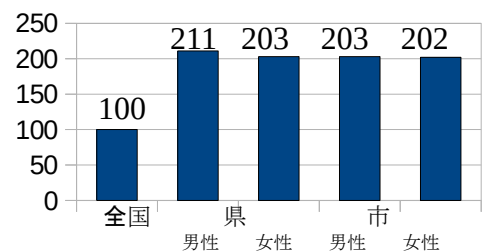
- ・血圧 130mmHg以上または85mmHg以上
- ・血糖 空腹時血糖100mg/dl以上
- ・脂質 中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満

R1までの、福島県や全国との比較



全国との比較でも  
本市や福島県は、  
メタボが多いです！

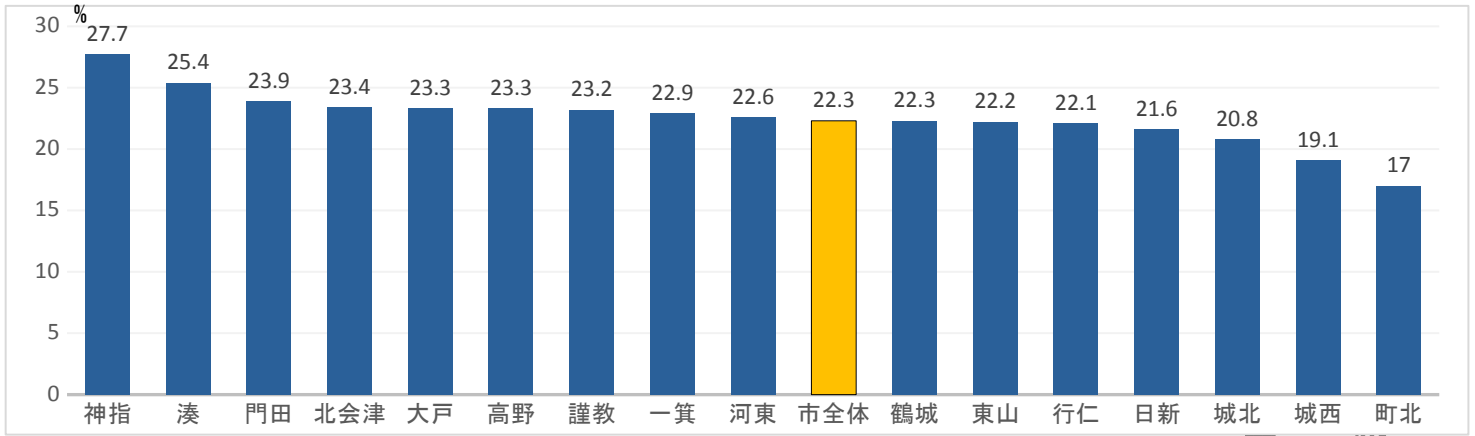
《急性心筋梗塞の発症》  
全国を100としたときに、福島県も会津若松市も全国の2倍の数値になっています。



出典: 人口動態特殊報告(SMR)  
平成25~29年

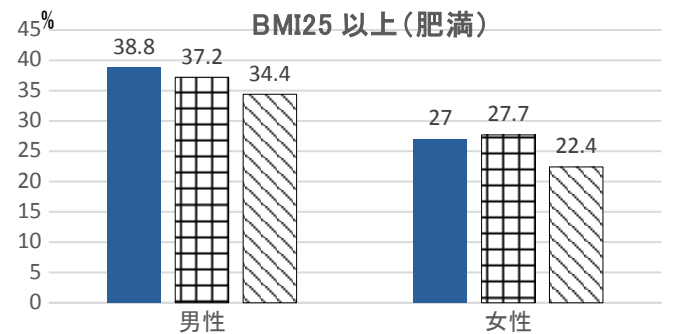
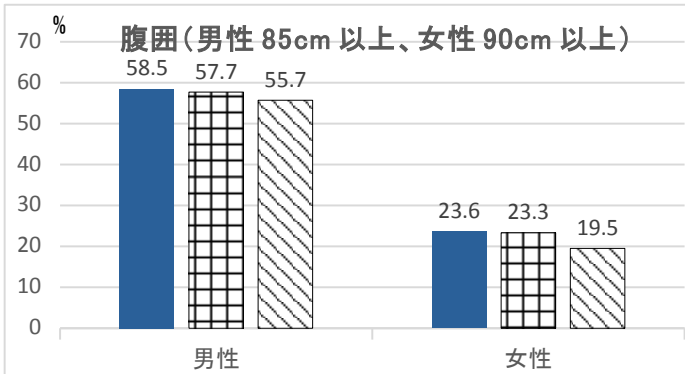
メタボは、血管を内側から傷め、動脈硬化が促進する状態です。動脈硬化は痛みなど自覚がないまま進行します。長年続くと、虚血性心疾患（心筋梗塞や狭心症など）、脳血管疾患（脳梗塞など）という大きな病気につながっていきます。

地区別メタボリックシンドローム該当者割合 お住いの地区は、いかがでしょうか？



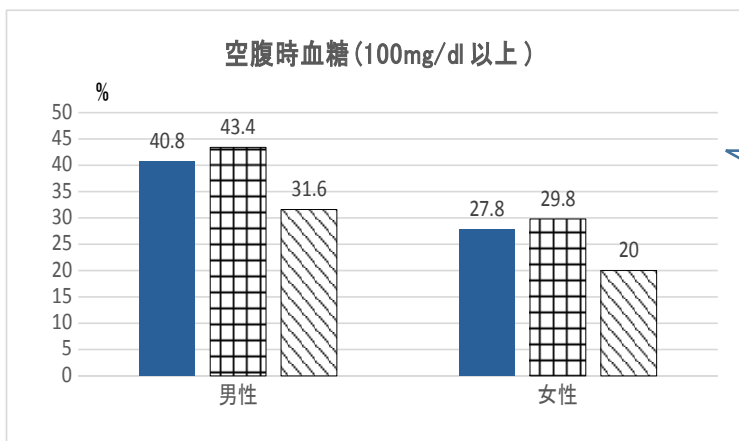
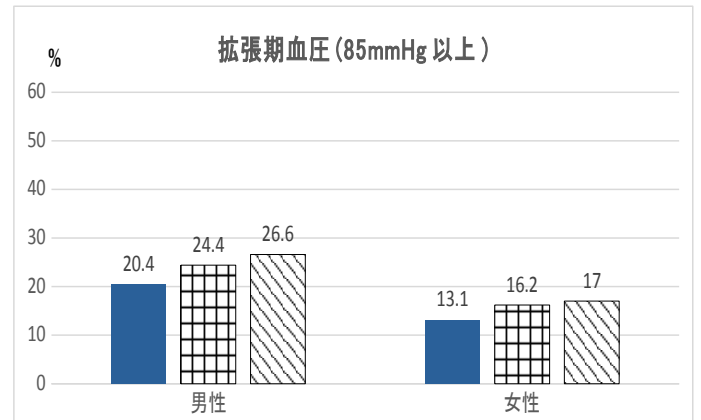
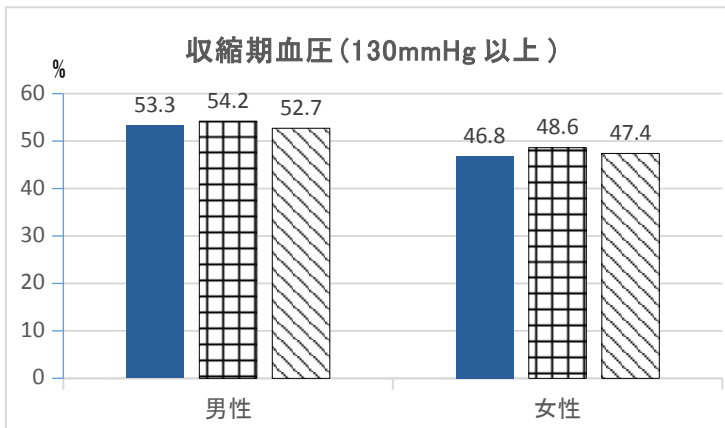
各検査項目の男女別、県・国との比較

グラフ表示: ■本市 □県 ▨国

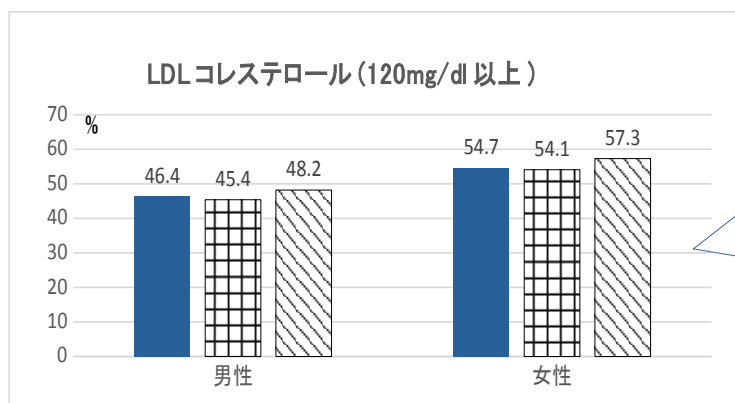
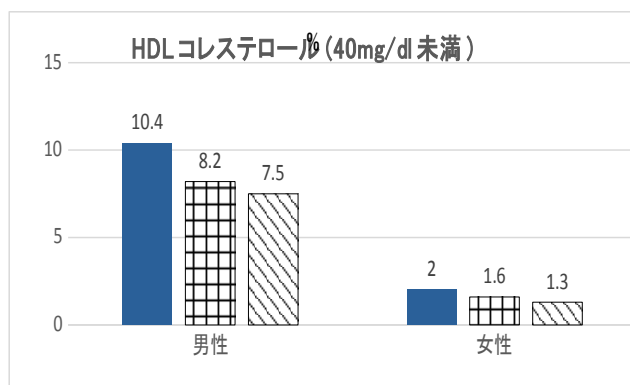
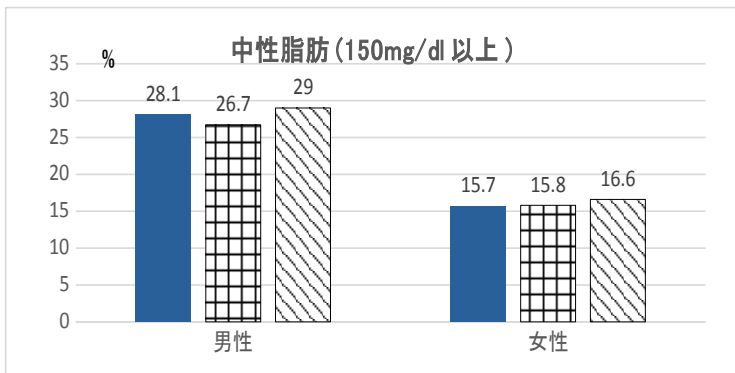


BMI(ビーエムアイ):  
 体格指数といい、肥満ややせの度合いを示します。  
 $\text{BMI} = \frac{\text{体重(Kg)}}{\text{身長(m)}^2}$  で算出できます。

血圧は測定時ごとに変動します。  
 朝が高い、夕方は高いなど、その人によって違います。  
 朝と晩に血圧を測定してみましょう。

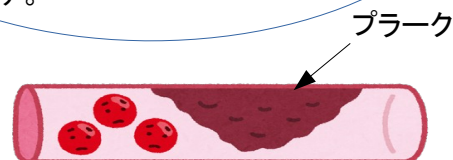


空腹時血糖値が高い人は、全国に比べて多い状況です。



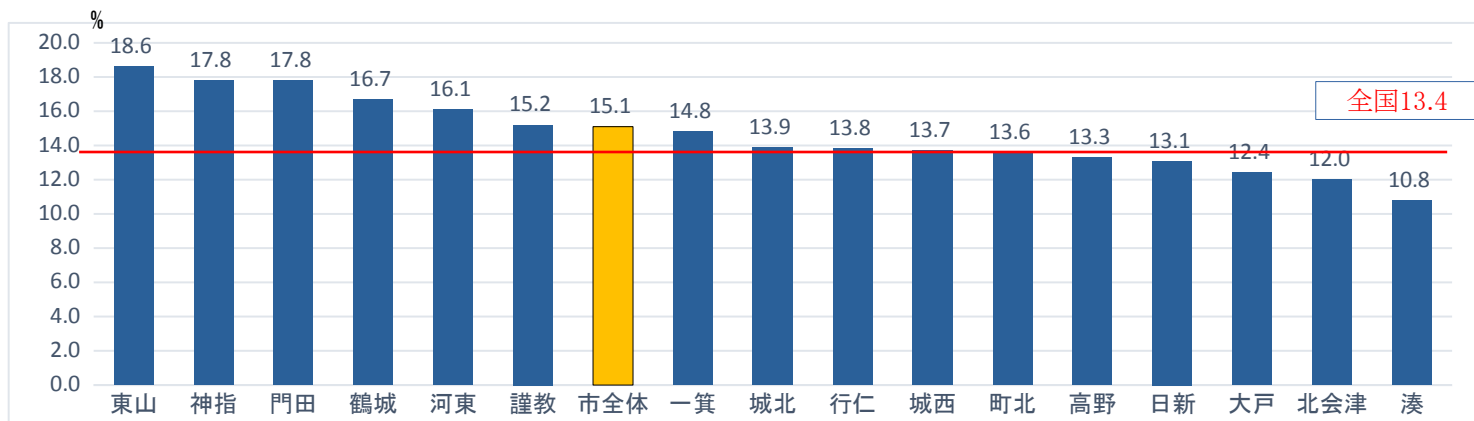
このLDLコレステロールが高い場合、肥満でなくても、他の検査値が高くなくても、動脈硬化を進行させます。

自覚症状はなく、知らず知らずのうちに血管壁に潜り込んでプラーク(血管内にできるこぶ)を作り、血管を詰まらせる要因になります。心臓の血管で起これば心筋梗塞や狭心症、脳の血管で起これば脳梗塞につながります。

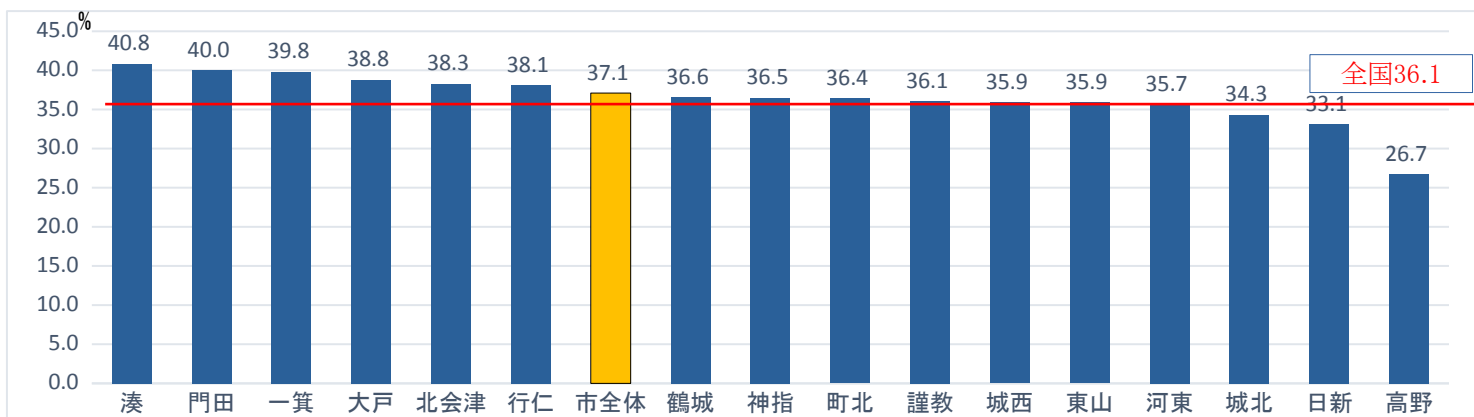


## 生活習慣の状況(問診項目)の地区別グラフ

### 喫煙者の割合

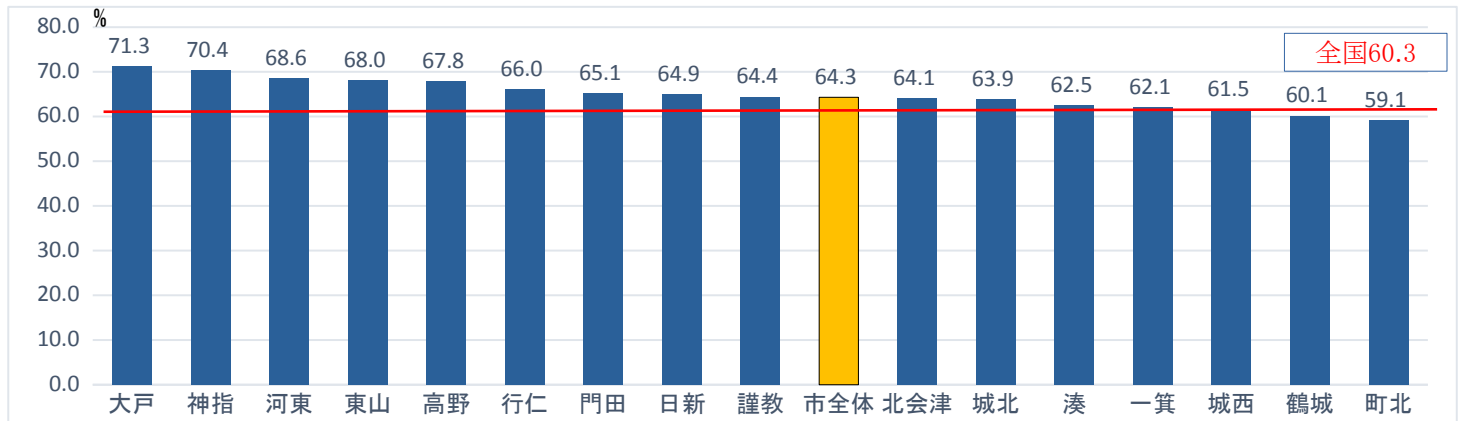


### 20歳から10Kg以上の体重増加があった人の割合

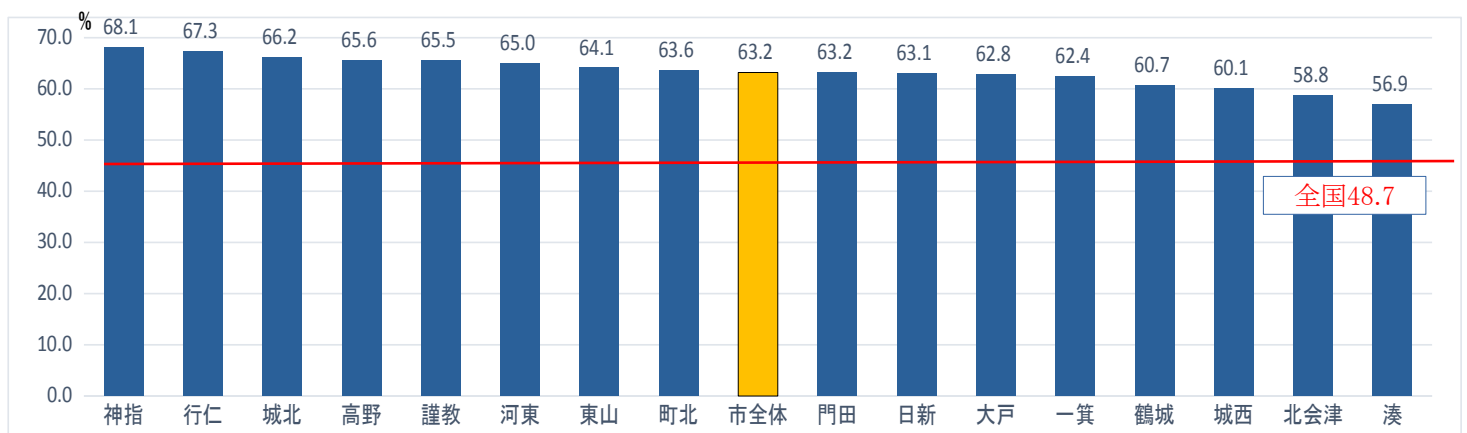


### 運動習慣:※運動を実施していない人の割合

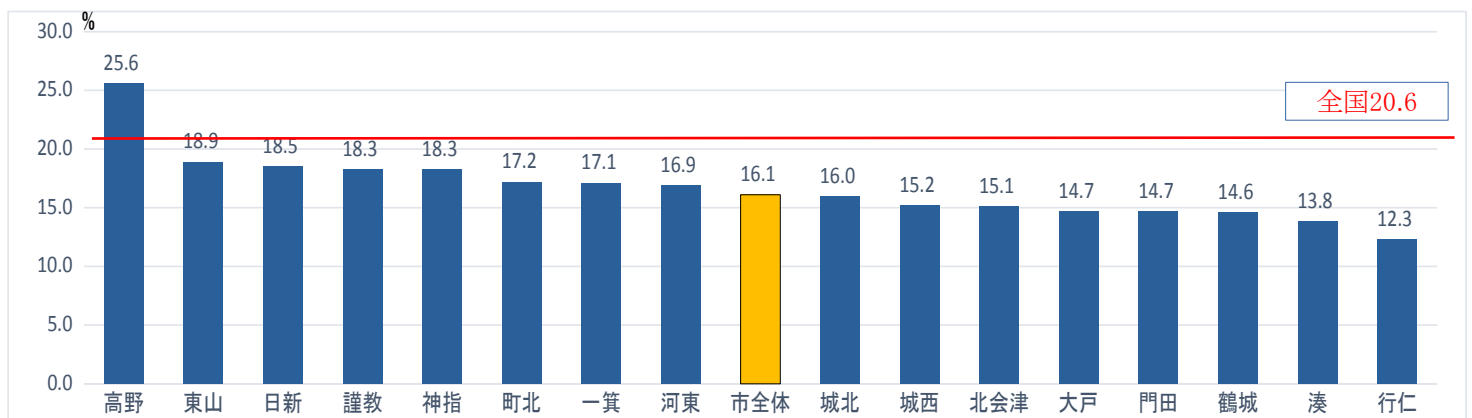
(※運動:30分以上かつ週2日以上を1年以上継続)



### 歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していない人の割合



### 毎日 間食や甘い飲み物をとっている人の割合



### 朝食を週3回以上欠食している人の割合

